

薬剤感受性検査のブレイクポイントならびに 感受性カテゴリー内容変更期日延期のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、先日「No. 23-127a(全) 薬剤感受性検査のブレイクポイントならびに感受性カテゴリー内容変更のお知らせ」にて、2024年1月4日からの新微生物検査システムの運用開始に併せ一般細菌薬剤感受性検査の判定基準ならびに感受性カテゴリー内容の変更をご案内させていただいておりましたが、新微生物検査システムの運用開始の準備が整わず、変更期日を下記の通り延期させていただきます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■変更内容

- 一般細菌薬剤感受性検査のブレイクポイントならびに感受性カテゴリー設定変更
および酵母様真菌薬剤感受性検査の感受性カテゴリー設定変更

変更内容	新	旧
一般細菌薬剤感受性検査の判定基準	CLSI M100 31st Edition(2021) および EUCAST Version11.0 (肺炎球菌の PCG のみ)	CLSI M100-S23(2013)および EUCAST Version7.0(肺炎球菌 の PCG のみ)
感受性カテゴリー	エビデンスのしっかりした薬剤 のみカテゴリーを報告	可能な限り類薬または類縁菌種 のブレイクポイントを用いて参考 値として報告

※裏面に変更例を示します。

■変更期日

- 2024年2月1日(木)受付分より

以上

※網掛け部分が変更箇所です。

【変更例 1】

変更後				変更前			
① <i>Acinetobacter baumannii</i>				① <i>Acinetobacter baumannii</i>			
薬剤名	MIC	B. P	カテゴリー	MIC	B. P	カテゴリー	
FRPM	1			1	—/—	S	

カテゴリーを参考値としてお返ししていましたが、エビデンスのしっかりとした薬剤のみをお返しします。

また、ブレイクポイントの設定のない薬剤は『-/-』と表記していましたが、空欄となります。

【変更例 2】

変更後				変更前			
① <i>Streptococcus agalactiae</i> (GBS)				① <i>Streptococcus agalactiae</i> (GBS)			
薬剤名	MIC	B. P	カテゴリー	MIC	B. P	カテゴリー	
CLDM/EM				>0.5	—/—		

CLDM/EM は誘導耐性検出用薬剤の為、今後報告致しません。

【変更例 3】

変更後				変更前			
① <i>Escherichia coli</i> (ESBL)				① <i>Escherichia coli</i> (ESBL)			
薬剤名	MIC	B. P	カテゴリー	MIC	B. P	カテゴリー	
PIPC	64	16/128	R	64	16/128	I	
CAZ	8	4/16	R	8	4/16	S	

ESBL(基質特性拡張型βラクタマーゼ)のペニシリン系及びセファロスポリン系薬剤のカテゴリーは、全て R に変換して報告致します。

【変更例 4】

変更後				変更前			
① <i>Serratia marcescens</i>				① <i>Serratia marcescens</i>			
薬剤名	MIC	B. P	カテゴリー	MIC	B. P	カテゴリー	
CFPM	8	2/16	D ※1	16	8/32	I	
CAM	>4		* ※2	>4	—/—	R	
AZM	4		* ※2	4	—/—	R	

※1 SDD(用量依存的感性)が設定されている薬剤についてはカテゴリーに『D』と表記して報告致します。

※2 自然耐性(内因性耐性)をもつ菌の薬剤を測定した場合、自然耐性(内因性耐性)であることが分かるようにカテゴリーに『*』と表記して報告致します。

SDD(Susceptible Dose Dependent) 容量依存的感性とは

感性が薬剤投与計画(投与方法、投与量)に依存することを意味しています。つまり、推奨される薬剤投与計画よりも、より高い薬剤暴露となる投与計画を実施すれば、感性となります。